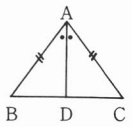


(4) 検証授業を通しての実践(検証授業Ⅱ)
 小集団学習を取り入れた実際の授業について、

抽出生徒M男を中心とした班活動及び授業全体の
 観察記録を基に述べる。

① 抽出生徒M男を中心とした班活動

教師・班の生徒	抽出生徒(M男)	観察者の考察
<p>P₄ (授業開始前)また、班ごとにやんの？ 班ごとの方が楽しいな。</p> <p>1. 本時の課題をつかむ。</p> <p>(1) 問題を解く。</p> <p>① 自分で考える。</p> <p>T (学習プリントの図を板書)この図で予想できることを各自で考えなさい。</p> <p style="text-align: center;">【学習プリント】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>右の図は、二等辺三角形の頂角の二等分線をひいたものです。この図を見て予測できることがらをできるだけ多くあげなさい。</p>  </div> <p>② 小集団で考える。</p> <p>T 自分の考えを持ち寄って、班でまとめてください。(カード配布)</p> <p>P₁ ADは共通でいいでしょう？</p> <p>P₂ ∠Dが共通。</p> <p>○ P₄ がカードに∠Dは共通と記入。</p> <p>T ∠Dは共通とはどこの角の意味だ？ 別の言葉で書き直してもらいます。</p> <p>(2) 予測したことがらを整理する。</p> <p>T 同じものを整理してはずしていきます。「ADは共通」は今日は、はずしていきます。</p> <p>「BD=CD」</p> <p>「∠B=∠C」</p> <p>「∠ADB=∠ADC」</p> <p>(3) 本時の課題をつかむ。</p> <p>2. 証明の方法を考える。</p> <p>(1) 仮定と結論に分ける。</p> <p>仮定 AB=AC</p> <p>∠BAD=∠CAD</p> <p>結論 BD=CD……………①</p> <p>∠ADB=∠ADC=∠R…②</p> <p>(2) 結論①を証明する。(口頭論証)</p> <p>(3) 結論②について証明の方針を立てる。</p> <p>① 各自で考える。</p> <p>② 小集団で考える。</p>	<p>○問題文を読み直し、解決しようとする意欲を示す。</p> <p>○無視</p> <p>M男 ナイス！、ナイス！</p> <p>○みんなに∠Dは共通と小声で話す。</p> <p>M男 辺ADは共通。</p> <p>M男 早く書け。</p> <p>○P₄の記入したカードを先生に持って行く。</p> <p>M男 AD⊥BCって書けばいいの？</p> <p>M男 おれらの考えと同じだ。</p> <p>M男 あのように書けばいいんだな。</p> <p>○P₂と相談するが、なかなか出てこない。次に、わきのP₄に相談する。</p> <p>◎自分の考えを全員に言えるところまではいっていないが、何とか解決しようとする意欲が感じられる。集中力も十分観察できた。</p>	<p>◎前回(検証授業Ⅰ)は班での話し合いが1対1のものから、今回は全員での話し合いに変わってきている。</p> <p>◎一人一人の発言も多く、しかもその意見を大切にしている姿が見られた。</p> <p>◎カード記入については前回のようにM男にだけ頼ることなく、P₁、P₄(女子)がさっと書きだしている。班学習での役割分担がうまくいっているように思える。</p> <p>○Tが「∠Dは共通」→「AD⊥BC」→「∠ADB=∠ADC」と、確かめながら書き換えていく思考の流れを見ても、班での話し合いがあつてはじめて気づき理解され「あのように書けばいいんだな」のような言葉として出てきていると考えられる。班学習が生きている。</p> <p>○考えが出てこなくなると、自信がないせいもあって、どうしても班での話し合いがそれぞれ1対1になってしまっている。しかし、わからない者どうしの集りであるせいか、それほど不安や消極的な態度が見られず、単発的ではあるがそれなりに考えて発言している。</p>

観察者の考察からもうかがえるように、班活動の中でM男は、自分の考えの筋道を再確認し、自信を持つことができたようである。「おれらの考

えと同じだ」の発言からも自己認識の高まりと班への所属感がうかがえる。